



『学校経営』

私は、この職に就いて、次々と、学校への小中一貫教育、コミュニティ・スクール、学校応援団の導入などに取り組みました。

それが、あまりにも、矢継ぎ早と映ったのでしょうか、先輩たちから「伊藤さん、教育は、不易と流行だよ。」とご助言をいただいたところですよ。

私としては、先輩たちがこれまで築き上げてきた海老名の学校教育を存続させるために、学校現場と話し合いを重ねて取り組んできたつもりですが、それが、流行を先走った軽々しい取組と判断されたようです。

教育における「不易と流行」は、30年ほど前の国の臨時教育審議会の答申で示され、その後の教育改革が進められる中で、改革の警鐘のように使われてきました。

私は、不易を守るための流行であると認識しているところであり、学校教育をよりよいものとするために、教育改革を進めるべきだと考えているところですよ。

さて、そのような中で、私が、就任以来、懸念事項として、継続して改革しようとしているのは、「学校経営」についてです。

「学校経営」とは、学校が、各学校の教育目標を達成するために、教育課程の編成とその実践、学校の健康・安全管理、環境整備等を行い、よりよい学校教育活動を展開するための取組です。

私は、小学校教諭から、12年間の海老名市教育委員会事務局職員としての勤務を経て、平成23年に海老名市立有馬中学校の校長となりました。

「学校経営」をする立場になりました。

何より、12年ぶりに、日々、子どもたち（生徒たち）と、ともに過ごすことができることが、うれしくてたまりませんでした。

しかしながら、子どもたちや保護者の声を聞くと、懸命に学校のために働く教職員への感謝とともに、学校への不平や不満が伝えられました。

私自身も、授業の様子や生徒指導の対応、保護者対応に、違和感を覚えていましたので、着任して、数か月後には、教育課程の見直しや校内組織（校務分掌）の改革を職員会議で提案しました。

もちろん、当初は、小学校の経験しかない、教育委員会から来た校長への反発がありました。

しかしながら、何度も話し合いを重ねるうちに、私の意図が伝わるようになり、初年度から教育課程の見直しに取り組むことになりました。

また、教職員をいくつかのグループに分けて、グループで学校のあり方などについて、時間をかけて意見交換しました。その中で、多くの教職員が前向きに学校をよりよくしたいという姿勢で、様々なアイデアを持っていることがわかりました。

その結果、2年目からは授業時数の確保のため、夏季休暇の短縮や教育課程の改善による学校教育活動を展開することができました。

学校組織は、若手教職員をリーダーとしたグループを設置して、グループの創意工夫による学校教育計画の策定とその運営に取り組みました。

そして、1年目の私の学校経営を進めるうえでの認識した課題は、次の3点でした。

① 教職員と充分に話し合うこと

私は、2年目から、6月の職員会議で次年度の学校経営について提案し、夏季休業中に、教職員とじっくり話し合う時間を取りました。秋には、小グループでの話し合いで、ひとりひとりの教職員の考えを聞きました。学校は校長のリーダーシップとともに、教職員が参画意識を持ち、学校運営に主体的にかかわることで、学校が活性化することを実感しました。

② 校長の裁量で使える学校予算を確保すること

教育委員会から配分される学校予算は、その用途が細分化され、使い勝手が悪いものでした。授業研究に力を入れるために講師を学校に呼ぶのに、その予算は、限られていました。何かを節約して、他に充てるということもできませんでした。

学校経営をより柔軟に行うためには、細分化されている予算を一括して学校に配分して、校長の裁量で予算を執行できるようになればと、考えていました。

③ 保護者や地域の方々に学校経営方針や学校教育計画などについて説明し、承認を得ること

各学校が、子どもや保護者のニーズに応え、校長の経営方針に基づき、教職員が話し合っただけで学校教育計画を策定し、学校教育活動を実践するためには、何より、保護者や地域の方々に、それを説明し、承認していただくことが必要であると考えました。

逆に、その承認があれば、その時々々の課題に対応した柔軟な学校経営が可能になるとも考えました。保護者や地域の方々は、とても協力的で多くの支援をいただきました。

そして、学校経営を進めて、2年と7か月で、有馬中学校を離れ、私は、この職に就きました。

子どもたちや教職員、保護者や地域の方々には、年度途中の離職ということで、大変な迷惑をかけました。

私としては、この職に就いて、学校に恩返しする意味でも、「学校経営」をテーマに、校長の裁量権の拡大、新たな学校体制づくりに取り組んできました。

まだまだ、解決すべき課題が多くありますが、今後も、積極的に、「学校経営」を支える取組を進めていきたいと考えているところです。

今後の取組の具体については、「第3期えびなっ子しあわせプラン」について、教育長の部屋で説明する折に、説明したと思います。

次回は、『1月29日の出来事』と題して、私の思いを述べてみたいと思います。